

全身の亀裂・発熱・体重減少を経て仕事と趣味を再開した高齢者アトピーの経過 (75 歳 男性)

症例 ID：001-70-TN | 記録日：2016 年 5 月 14 日

1. 診断・治療前経過

約 10 年前から全身のかゆみ、掻破、落屑が続き、複数の医療機関で内服薬とステロイド外用薬を使用しました。外用量を増やした後、手足に約 5cm の亀裂が生じ、皮膚が硬くなりました。

朝は 37℃、日中は 38～39℃の発熱が続き、毎日 3 時間の点滴を 2 週間受けても変化がありませんでした。頭皮からも浸出液が出て、顔色が悪くなり、体重が 7～10kg 減少しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	全身症状に対してステロイド外用薬を大量に使用し、内服薬も使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	発症後から松本医院受診前まで長期間使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
約 10 年前	発症	全身のかゆみ、掻破、落屑が始まりました。
複数医療機関受診期	治療反復	内服薬と外用薬を使用しましたが、症状が広がりました。
外用量増加後	急性悪化	手足に大きな亀裂が生じ、皮膚が硬くなりました。
その後	全身症状	38～39℃の発熱、頭皮浸出液、顔色不良、体重減少がみられました。
松本医院受診	治療開始	富山県から受診し、検査と治療を開始しました。
約 1 年後	改善傾向	頭皮の傷、手足の亀裂、顔色が徐々に改善しました。
記録時点	生活回復	全体の仕事を続け、カラオケ教室や歌と踊りの会を楽しめる状態となりました。

4. ピーク時期

ピークは、手足に大きな亀裂が入り、38～39℃の発熱と頭皮の浸出液が続き、体重が約 10kg 減少した時期です。

5. 困りごと

- 手が硬く、朝にマッサージをしなければ全体の施術ができませんでした。
- 点滴のため毎日長時間の通院が必要でした。
- 体重減少と発熱により、生命への不安がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



2008 年頃の下腿皮膚。



記録時点の下腿皮膚。



2008 年頃の下肢皮膚。



記録時点の下肢皮膚。



2008 年頃の背部・上肢皮膚。



記録時点の背部・上肢皮膚。

7. 経過のまとめ

約1年の治療経過で頭皮の傷と手足の亀裂が軽減し、顔色も戻りました。

記録時点では全体の仕事を続け、カラオケや歌・踊りの活動を楽しまれていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。